

書いた文章が相手に伝わるか、
不安になったことはありませんか？
これを読んで悩みを解決しよう！！

レポートの段落分け

読み手意識、足りてる？段落分けをマスターして「伝わる」文章を書こう！

○段落分けのポイント

- ✓ 段落の最初は必ず一文字あける
→文章の始めに全角スペースを入れる。
- ✓ 一段落にひとつのテーマについて書く
→主張を一段落目、その根拠を二段落目…という風に段落分けしない。
- ✓ ひとつのテーマのなかでは改行しない
- ✓ 段落と段落の間に空白行は入れない

半角→全角

段落と段落の間に
空白行を入れない

カケナイ

掛内さんのレポート

大学生はアサーティブ・コミュニケーションを行うべきだと考えた。
それは、協調するためだ。「〇〇ゼミ」の授業前、それまでのグループ活動を振り返った。すると…。

大学生には相手の意見の良い点を挙げて共感しつつ、自分の主張を行う姿勢が必要だ。それは、円滑な議論を行うためだ。

段落内で改行しない

テーマが変わらない場合は段落を分けない

ポイントを
意識して書くと…

大学生はアサーティブ・コミュニケーションを行うべきだと考えた。それは、協調するためだ。「〇〇ゼミ」の授業前、それまでのグループの活動を振り返った。すると…（中略）。大学生には相手の意見の良い点を挙げて共感しつつ、自分の主張を行う姿勢が必要だ。それは、円滑な議論を行うためだ。

*** レポートは**パラグラフ・ライティング**で書くと効果的です ***

○パラグラフ・ライティングとは

ひとつのパラグラフ(段落)でひとつの主張、その根拠を説明する書き方

※文章の順番をパラグラフ・ライティングの形式に当てはめて書くと…
⇒文章の流れが決まり、レポートが書きやすくなる！！
自分の主張が伝わりやすくなるなど、他にもメリットがたくさんあります。

○パラグラフ・ライティングのルールに則った書き方

初めに主張を示してから
根拠を説明すると
説得力が生まれる！

★「主張→理由」「概論→詳細」「抽象→具体」という流れで書くことを意識しよう

- ① 結論や主張を第一文（トピック・センテンス）にズバリ書く
- ② 第一文を支える理由や、主張の補足などを第二文に書く
- ③ 第三文以降に、その理由の説明や証拠を挙げて詳しく説明する



トピック・センテンスだけを読めば、全体の内容が把握できるつくりになる！

➡パラグラフ・ライティングに則った書き方でレポートを書いてみると……

例) 「大学生が飲酒する上で気を付けるべきことについて論じなさい」というレポートの場合

- ①大学生が飲酒する上で気を付けるべきことは、イッキ飲みをしないということだ。(主張)
- ②なぜなら、イッキ飲みは、健康に重大な被害をもたらす恐れがあるからである。(主張の理由)
- ③イッキ飲みや無茶な飲み方をすると、最悪の場合には、急性アルコール中毒などで死に至るケースもあり、一昔前はそれにより事故が多発し社会問題化した(信州大学新入生ハンドブック編集委員会編, 2025, p. 57)。(証拠を間接引用で示す)

★これで合っているかな？など、書き方に困ったときには
ライティングアドバイザーまで！！

こちらから予約できます

ピアサポ@Lib ライティング
アドバイザー ウェブサイトへ



文章がまだまとまっていなくても大丈夫！
気軽に相談してね！！



教育ナナちゃん
信州大学附属図書館
マスコットキャラクター